市報
にいがた

平成元年
11月19日
第1186号

発行日 毎週日曜日　発行所 新潟市役所 〒951 学校町通1-602-1　編集 企画部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

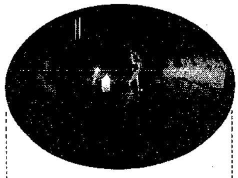
市の人口（10月末現在）
人口	476,330人
男	231,216人
女	245,114人
世帯数	160,666世帯

「看護婦の誓い」新た
市立看護専門学校で戴帽式

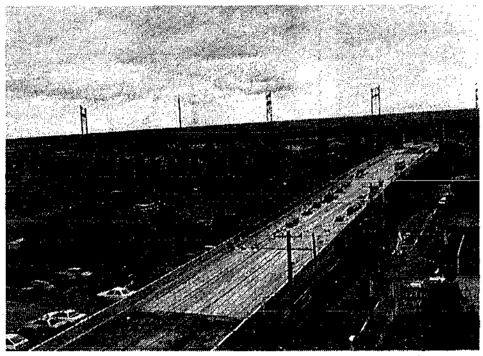
感激の面持ちの戴帽式

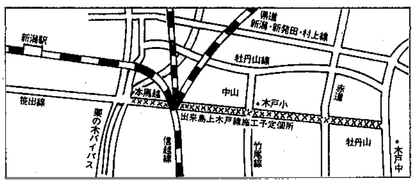
市民病院に併設されている市立看護専門学校（笹川力校長）で十一月九日、看護の道を志す同校学生に看護婦の象徴「ナース・キャップ」をかぶせる戴（たい）帽式が行われました。

三浦一子副校長から一人一人、帽子をかぶせてもらった三十一人は今年四月の入校生で、父兄や先輩らが見守る中、緊張気味の様子。ナイチンゲールの像が持つローソクから自分の持つローソクに火を移して全員で誓いの言葉を述べ、幅広く高度の専門的技術を身につけ、病む人の希望の光となるような看護婦への覚悟を新たにしていました。


ナイチンゲールの像のローソクから一人ひとりが火を移すキャンドルサービス。全員で看護の道への誓いを述べました

着々進む 出来島上木戸線の整備
来年度には信越線こ線橋が完成


来年度完成を目指して急ピッチに進んでいる信越線こ線橋の架橋工事



新幹線の開通、新潟駅東・西連絡通路、プラーカの開業などで開発が進んでいる新潟駅南側地域と住宅地域の中山地区を結ぶ幹線道路・出来島上木戸線（出来島―牡丹山間、計画延長七・四㌔、計画幅員十八～二十四㍍）の工事が着々と進んでいます。

同道路は、出来島―笹口間は通称・笹出線として広く利用されているものの、本馬越―中山間（計画延長一㌔、計画幅員十八～二十四㍍）はJR信越線で分断されているため、未整備となっていました。

市では、笹出線を延長した同区間の整備をはかろうと、昭和四十九年に事業着手、設計や用地取得などを重ね、昭和六十年からJR信越線こ線橋の架橋工事を進めています。この工事は来年度には完成し、平成四年度を目途に木戸小学校付近の通称・竹尾線の交差点まで整備。長年、用地取得などの問題で整備が進まなかった同事業の、新潟駅南側地域と中山地区を結ぶという目的を達することとなります。また、その先、通称・赤道までは地元市民の皆さんの協力を得ながら、順次整備を図っていく予定となっています。

出来島上木戸線の全線開通は、新潟市の幹線道路として、地域住民だけでなく、多くの市民の生活に利便性をもたらしてくれるものです。市としても一日も早い全線開通に向けて、鋭意、努力していきます。

私道などの共同排水設備工事に助成

市では、公共下水道処理区域内などの皆さんが、トイレの水洗化のため、私道などに共同排水設備工事を行う際に助成を行っています。

助成対象 公共下水道処理区域内、または処理開始前に公共下水道本管が処理場に接続し、汚水取付ますが設置されている区域で、トイレの水洗化のため、私道や民有地に三戸以上で共同排水設備工事を行う人

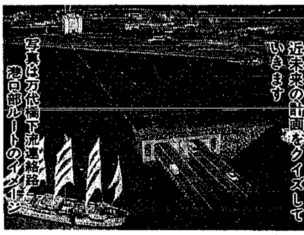
助成額 工事費のおおむね三分の二

問い合わせ 下水道業務課普及指導係（☎内線2976番）へ

新春市政テレビ番組
"馬"と"90"にエピソードをもつ解答者を募集中

来年は一九九〇年。市広報課では、正月放映の新春市政テレビ番組「クイズで知ろう新潟市」（仮題）に出演する解答者を募集しています。出演資格は一九九〇年の"九十"または干支（えと）の午（うま）年の"馬"にちなんだエピソードをお持ちの方。たとえば番地が九十番地、新潟市に居を構えて九十カ月など、また、家族で乗馬が趣味、氏名に"馬"が使われている、など、関係があればどなたでも応募できます。

応募方法 十一月三十日（必着）までに一チーム四人までで編成、はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、エピソードを書き、広報課（〒951学校町通一―六〇二―一、☎内線2145番）へ


番組では、新潟市のさまざまな近未来の計画をクイズしていきます
写真は万代橋下流連絡路―港口部ルートのイメージ

水道料金 下水道使用料
お支払いは口座振替で

水道局では、ご使用いただいた水道料金を隔月ごとに下水道使用料とあわせて徴収しています。

支払方法は、預金口座から自動振替できる口座振替制、または直接銀行など金融機関の窓口へ納めていただく自主納付制をとっていますが、支払いに便利な口座振替制をおすすめします。

なお、申し込みの手続きは銀行・農協・郵便局などの金融機関の窓口でお願いします。

問い合わせ 水道局へ（東新潟の方…☎241―8777、西新潟の方…☎266―9311）

電話案内

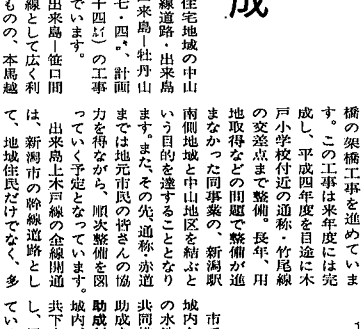
市役所・教育委員会	228―1000
野球場・テニスコートの申し込み	266―8111
火災の場所を知りたいとき	224―1111
〃	244―1119
市民病院	241―5151
園芸センター	286―1034
東保健所	**243―5311**
石山地区保健センター	286―4450
鳥屋野地区保健センター	285―2373
北地区保健センター	259―7332
西保健所	**266―5171**
西地区保健センター	262―3405
坂井輪地区保健センター	260―3255
市医師会休日急患診療センター	231―4135
県歯科医師会休日歯科診療センター	283―3030
水道局	**266―9311**

第118回 市民健康教室
眼底出血
日時 11月24日午後1時半～3時
会場 中央公民館404号室
定員 先着50人
講師 寒河江豊・市民病院医師
申し込み 電話で保健衛生課（☎内線2704～6番）へ

商品テスト教室
日時 11月29日午前10時～正午
会場 市消費生活センター（第1分館）
テーマ 果実飲料中のビタミンC、食品中の着色料の検出、ほか
定員 10人（応募多数の場合抽選）
申し込み 11月20～21日の間、電話で会場（☎228―8100）へ

洋ラン展
日時 十一月二十三日～二十六日午前九時～午後四時半
会場 園芸センター
出品 新潟らん友会会員の作品百五十点

NEXT100 ぼくの夢、わたしの夢
未来の新潟 ⑥
内野小学校（4・5・6年）


「50年後の新潟市」

百万都市　新潟。無料のリニアモーターカーは市域を巡り、道路は目的地へ動き、対岸貿易はもちろん、宇宙旅行の基地ともなる。海中市街あり、佐渡へは橋をかける。高層ビルも並ぶが、空気・水・緑も大切にしている。子ども達に造らせると50年はおろか、1年後にもでかすつもり。その夢、壮にして、かつ、大。